

[機構について](#) > [情報提供活動](#) > [動画で見る企業事例「企業未来！チャレンジ21」](#) > [2003年放送分](#) > 1月25日放送分 特殊技術でオンリーワン！ 夜光塗料で世界に飛躍

## 1月25日放送分 特殊技術でオンリーワン！ 夜光塗料で世界に飛躍

25日(TX・TVO)

26日(TVA・TVH・TVQ・RCC)

27日(BSJ)

東京・杉並区にある根本特殊化学(株)(資本金9,990万円、従業員92名)は、世界の夜光時計文字盤の需要をほぼ独占し、夜光塗料の分野でも世界の60%のシェアを占めるグローバルニッチ企業である。

この躍進は94年に独自開発した[N夜光・ルミノーパ]であり、以降需要開拓に努めるとともに、世界各地に販売拠点・生産拠点の整備を展開。

同社が進めてきた特殊化、国際化、多角化戦略を紹介する。

### 特殊技術でオンリーワン！

#### 夜光塗料で世界に飛躍

[視聴覚教材No. TV14-43](#)

[動画配信中\(新規ウィンドウ\)](#)



こちらが2代目の根本社長。

「当社の開発したN夜光が100年間変わらなかった夜光を変えた」と語る。

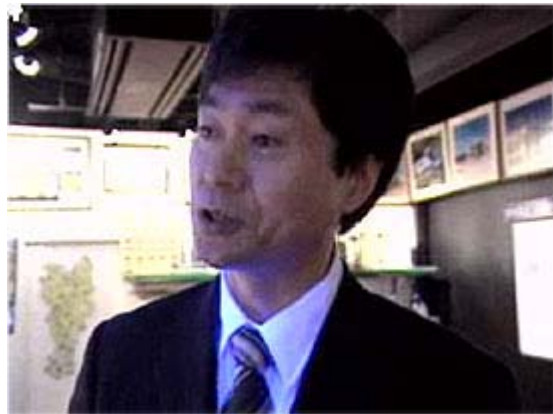
1991年、夜光塗料に含まれている放射性物質の安全性を危惧した大手時計メーカーは放射性夜光塗料の使用中止を発表。正に寝耳に水の発表であったが、根本社長はみんなで頑張っって放射性物質の入っていない夜光塗料を作ろうと一念発起。そうして、開発期間わずか3年で放射性物質を使わずに完成させたのが、このN夜光。





N夜光は安全で従来の夜光塗料よりも10倍明るく、10倍長持ちし、樹脂やシリコン、インクにも練り合わせることができるまったく新しい夜光塗料だ。

N夜光の開発に関する苦労を尋ねる志垣さんに対して、当時、N夜光開発責任者であった松沢さんは「あまり、開発自体に苦労はなかったんです」と言う。



その理由がこれ！

根本特殊化学では1年に1度、開発部が研究内容を発表する機会があり、そのデータの蓄積により、わずか3年でN夜光を完成させることができたのだ。



N夜光の製造現場。

まず、原料となるストロンチウム等を均一に混ぜあわせ、



炉の中で数時間焼いて、



完成！

黄緑色に光っているのがわかる。

N夜光は発行色を黄緑色だけでなく、青緑色や紫色も増やすことで、更に用途が広がった。



夜光塗料の世界需要は年間700トン。決して多くはない。

そこで根本特殊化学は、以前の夜光技術に関連した放射線の知識を生かして、各種センサー等を開発し、多角化を図った。「特殊化、多角化、マーケットが小さいから国際化」と根本社長は語る。

特殊だから多角化、国際化





国際化により、夜光塗料の新たなニーズが生まれている。

アメリカの100ドル紙幣やヨーロッパのユーロ紙幣、そして、ドイツの航空会社では、飛行機内の非常時用誘導表示に根本特殊化学の技術が生かされている。

国際化から新ニーズが生まれる



根本特殊化学では売上の5%を技術開発につぎ込んでいる。

「無駄なことと思いますが、その無駄が命を助けてくれる」とは根本社長の弁。現在、第二技術開発センターでは、赤色系のN夜光の開発や、N夜光を超える明るさを持つものがないかという研究をしている。

「やっぱり事業というものはいつまでも続くと過信してはいけない。常に平行して次の製品を作ってゆくようにしないと、いつかは潰れてしまう」と多角化、国際化、そして技術開発の重要性を根本社長は常に忘れない。



オンリーワンでも技術開発



[利用規約](#) [法的事項](#) [プライバシーポリシー](#)

Copyright©2007 Organization for Small & Medium Enterprises and Regional Innovation, JAPAN